

未来への協働

2022年1月26日(水)
第334号

●発行所 未来への協働
ホームページ
https://kyodomirai.org
〒577-0023
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
電話/FAX
(06) 4306-3512
郵便振替
00940-8-213061
Eメール
mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 郵政土曜休配で仕事は過密に
- 3面 ウトク放火 社会の無反応を恐れる
- 4面 論者・最初のポリシエヴィキ(上)
- 5面 維新、唯一の経済政策がカジノ
- 6面 根拠に乏しい石木ダム建設

紙面へのご意見、ご感想を

上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

扇状地

新年早々然とした。岸田首相は国の防衛政策の中に「敵基地攻撃能力」を持つようにしたいと発表した。ちよっと待てよ。それって「戦争」じゃないか▼以前から、「相手が攻撃しかけるときどうしたら先に叩けるように」などと言っていたが、攻撃しかけるとき、などどんな状態を言うのか。それがわかるなら外交で話し合えよ。相手を叩いたら、「すみません」と頭を下げるだろうか? 「この野郎!」とそれ以上の攻撃がくるだろう▼はっきりと「戦争」の幕が切っておとされる。しかけているのはこちらである。「真珠湾」の奇襲。そのあと日本は泥沼の太平洋戦争に突入したのである▼そんな歴史は繰り返すな、と憲法「9条」ができたのではないのか。1947年に発行された「あたらしい憲法のはなし」にある▼「よその国と争いごとがおこったとき、けっして戦争によつていいぶんをおさなるときめたのです。いくさをしなげることが自分の國をほろぼすはめになるからです」(俣)

大阪はカジノと共に沈む

2月議会 誘致決議にストップを

7日、大阪府と大阪市 民の中から、カジノ建設は人工島・夢洲(大阪府)に誘致を予定し、此花区に誘致を予定し、この誘致を予定しているカジノの建設計画について、初の住民説明会を大阪市内で開いた。参加した80人の住



大阪市内で開催されたカジノに関する住民説明会=7日、写真提供 共同通信社

「ギャンブル依存症の対策をして完全に防げるのか」「依存症が増えることを認めるのか」「住民の合意がない」など切実な質問に納得のいく回答はなかった。前日の6日、大阪市内で開かれた集会で、大阪市民交流会の石田富美枝さんは「2月大阪府議会、府議会のカジノ誘致決議をストップさせよう」と次のように訴えた。

韓国・江原の失敗

カジノ業者の米MG Mは年間7.5兆円の売り上げを計画している。年間550万人が来阪し、カジノで一人140万円を使うことを想定している。550万人といえ、大阪市の人口の2倍だ。韓国で唯一、韓国人も入ることができるカジノ

依存症、貧困、犯罪

カジノは必ずギャンブル依存症になる人を生む。大阪府市のIR推進局も、カジノと過重債務、貧困、自殺、虐待、犯罪との密接な関連を認めている。

一昨年5月、賭け麻雀



あの日、その後、手を合わせる(17日、神戸市役所前)

追悼と連帯、そして抗議

1・17 阪神淡路大震災から27年

で訓告処分を受けて辞任した黒川検事長のよう、に、公務員の賭博行為は、わずかな賭け金でも処分される。その一方で、国は法律を勝手に作って、カジノを合法化しているのだ。カジノは宝くじと同じではない。宝くじで全財産を失くしたという話は聞かない。カジノは一晩で全財産を失う。

【5面に関連記事】
(池内潤子)



玉城知事、全国に発信
2月9日オンラインで

「玉城デニー知事トークキャラバン神戸」が、2月9日(火)午後6時半から開かれる。新型コロナウイルスの感染拡大のためオンラインで実施することになった。視聴の申し込みは、沖繩県トークキャラバンまで。https://forms.gle/JSJPHL8KAMKTPA 2月8日が締め切り。

地を裂くような激しい音と揺れ。燃える街、瓦礫の道。27年をむかえた1月17日。4万人を超えた人たちが慰霊の場を訪れた。神戸市役所前では今年も「追悼、連帯、貸付け」という援護法に抗議の集いが開かれた。阪神淡路で犠牲になった6434人と、11年をむかえる東日本大震災の犠牲者への追悼。被災者の暮らしを元に戻すよりも「高層ビルの街づくり」という復興策と、借上げ住宅からの追い出しへの抗議。多くの人たちが学校の廊下や公園のテントにいるとき、「個人資産の保障

(た)

はできない」と突き放した政府の言葉は忘れることができない。人びとが、力を合わせ生きてきた連帯の証。住まいを喪失した被災者へ利子付貸付けという援護法に抗議の集い。何度も国会にかけつけ、給付法を実現した。阪神淡路で犠牲になった6434人と、11年をむかえる東日本大震災の犠牲者への追悼。被災者の暮らしを元に戻すよりも「高層ビルの街づくり」という復興策と、借上げ住宅からの追い出しへの抗議。多くの人たちが学校の廊下や公園のテントにいるとき、「個人資産の保障

(俣)

「格差是正」は職場の声

1月7日付の朝日新聞「給」に「正社員の夏冬有給に「正社員の休暇削減、休暇の削減」1月2日、日本郵政側が提案」と3日の正社員への賃金という記事が出た。その反響は大きく、労働問題にかかわる人たちが郵政で働く人たちなどからSNSに多くの投稿があった。ほとんどが日本郵政を批判する内容だ。こうした世論を、現場の労働者や組合のとりにみじに発展させた。

（浅田洋二）

差是正が求められていた。郵政が9月に示した案は、正社員の割増を廃止する。それを原資に年当初勤務手当を増額する（しかし、正社員と非正規の手当額の格差は現行より大きい）という



「土曜休配で6日分の仕事を5日でやることになってしんどいのに、なんで休みを減らすの

か」「これが労働組合が提案する内容か」という怒りの声があちこちから聞こえてくる。

日常的な監視

「要員不足でしんどい」という声が一番多い。「土曜休配」が始まり、労働密度が高まっている。組合側からの休み削減案など認められない」と多くの労働者が思っている。18春闘での不利益変更で最も被害を受けた一般職

成田空港 崖っぷちの第3滑走路 「機能強化」は中止すべき

1966年以来、56年間にわたって成田空港に反対してきた三里塚芝山連合空港反対同盟。現在も、空港敷地内で営農を続ける市東孝雄さんは、地域の生活と環境を守るために闘っている。

危機深める航空業界

コロナ禍が長期化し先行きの見えないなか、成田空港や航空業界の危機は長期化し深刻化している。成田空港利用の80%を占める国際線旅客数は依然としてコロナ禍前の95%減が続く今後も回復の見込みはない。21年中間連結決算(4月~9月)

が、その待遇の悪さから定着せず退職するという報告も少なくない。

さらに集配現場では、Docat(配達コミュニケーション)が導入され、労働者が導かれ、労働者はアルタイムで監視されるようになった。今、どの建物の何階にいるのかさえわかる。バイクの運転も自動的にチェックされる。会社は、表向き「支援」ツールと言っているが、イレギュラーな動きがあると徹底的に追及され、場合によっては処分にもつながっている。「郵便物の放棄・隠匿対策」と称して人権無視のロッカー点検が行われている。私物のバッグの中身を見られたいというケースもある。郵政当局は労働者に絶えず疑いの眼差しを向けている。



人影まばらな国際線到着ロビー (昨年12月1日撮影)

航空会社はさらに深刻だ。ANA(全日本空輸)は来年3月期決算で1000億円の赤字見通しを発表した。つい7カ月前には「35億円の黒字転換」を豪語していたが、あえなく破産した。ついには25年度までに全従業員の25%に当たる9000人を削減すると発表した。

JAL(日本航空)もさして変わりはない。今年3月期決算で1460億円の赤字予想にANA、JALとともに、首都圏空港の羽田集約に舵を切っていると言われている。

もはや成田空港の危機は、一時のぎで過ぎせるものではなく、経営危機・破綻となっており、抜本的な見直し・転換は避けられない。こ



サンケン電気に抗議 尾澤さんついに釈放

19日、サンケン電気大阪支店への抗議行動が19日に行われた(写真上)。おおさかユニオンネットワーク主催で今年1回目。韓国サンケン労組は解雇撤回に向けて出退勤闘争を取り組み、日本大使館にたいして抗議を続けている。また昨年5月サンケン電気本社前で逮捕・勾留されていた尾澤孝司さんが昨年未保釈された。

新たな変異株の出現によってコロナ禍の長期化は避けられず、航空・運輸関係の混迷・混沌状況は深まっている。「観光バブル」に踊って計画された機能強化策はたちちに停止すべきである。

ねばり強く反対の声をあげ続ける周辺住民、そして反対同盟農民の農業と地域、生活を守る闘いを支援しよう。

(野里豊)

論考 「最初のボリシエヴィキ」(上) 掛川 徹

ピョートル・トカチヨフ(1844-1885年)

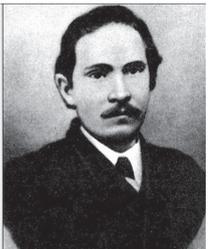
「レーニン主義」の原型

91年ソ連崩壊後の世代にとつて、レーニンとロシア革命が現代世界にもたらした影響の巨大さは理解し難いかもしれない。だが、既成政党や社会運動が今も引きずる欠陥、短所のいくつかはその起源をソ連型「共産主義」に有する。むしろロシア革命の肯定的な側面も数多くあった。だが、むしろ正面から論じられることの少ないレーニンのマイナス面が現代の課題だとも思える。レーニンとボリシエヴィキの革命は先行するロシアの革命



デカブリストの乱。ロシア・サンクトペテルブルクの元老院広場に集結した反乱軍(1825年12月14日)

住民の過半は農奴で、彼らを自由にムチ打ちしてこき使う地主の貴族たちは農業近代化の意欲をもたなかった。女性は貴族たななかつた。女性もあらゆる生活から排除され、離婚は法的に禁止、親が認めなければ結婚もできなかった。行政機構や裁判所には汚職や賄賂が横行。西洋近代思想に触れた知識層にとつて、ツァー体制の変革、ロシアの近代化は1825年の宮廷革命「デカブリストの乱」以来、世代を越えた共通の課題だった。



トカチヨフ



チェルヌシエフスキー

19世紀ロシア。皇帝(ツァー)が絶対的権力を握り、選挙や議会は存在せず、思想・言論の自由もなく、秘密警察オブラーナが全国にスパイ網を張り巡らせ、一切の体制批判を取り締まった。しかし、1861年農奴解放令をはじめとするアレクサンドル2世の「上からの改革」を契機に、もっぱら貴族の子弟からなる旧世代のゲルツェンなど、改革を支持する「改良派」と、没落貴族、官吏、商人や技術者の家庭出身でツァー体制に展望を持たず、「下からの革命」を掲げたチェルヌシエフスキーら急進派に知識層は分裂。没落地主の家に生まれ、学生運動で揺れるペ

テルブルク大学に入学したトカチヨフも「革命派」の論者として台頭する。70年代になると、農民教育を通じて漸進的社會改良を夢見たラブロフ(「人民の中へ」運動)と、農民による暴力革命でツァー体制打倒を目指したバクーニンとの間で論争が行われたが、トカチヨフは亡命後に発行した「ナバート(警鐘)」誌で独自の立場から「知的道徳的に優れた少数者が人民を指導する革命」を論じた。しかし、当時「エリート主義」と批判され

「ウイリス」の戦争の発明によつて、統治する側は、監視・管理のテクノロジーを高度化し、権力が人びとの日常生活により深く浸透している。統治される側は、安全と引き換えに自由を手放すことを厭わなくなり、権力の私物化に対抗する必要性をそれほど感じなくなる。そうして、民主主義への支持や関心をこれ

「革命は近い」 トカチヨフは「ヨーロッパの憲兵」と呼ばれた反動の牙城「ツァーリズム」が実は脆弱で、ロシアの革命は近いと断言する

「この未開な大衆」 革命の主力は農民だが、市民が直接参加することで、市民の政治決定権力を強化すること。次に、市民が直接代表者を監視し、説明責任をはたさせることだという。著者は、マルクスの『ルイ・ボナパルトのブリュメール18日』を「何が代表制度を破たんに追い込んだのか」「ルイ・ナポレオンを誰が支持したのか」という視点から読み解く。そして「代表する者と代表される者との間



「本」の戦争の発明によつて、統治する側は、監視・管理のテクノロジーを高度化し、権力が人びとの日常生活により深く浸透している。統治される側は、安全と引き換えに自由を手放すことを厭わなくなり、権力の私物化に対抗する必要性をそれほど感じなくなる。そうして、民主主義への支持や関心をこれ

政治参加の平等とは

『代表制民主主義はなぜ失敗したのか』 (藤井達夫 集英社新書2021年/946円)



「誰かに統治を任せるのではなく自分たちで統治すること、すなわち自治こそ、専制政治に対抗する最良の手段だったから」という指摘は重要だ。空洞化した代議制民主主義は改革できるか。それは、まず重要な決定に

も利己主義者である。彼らは自らの兄弟と共通の利益や連帯を感じるかもしれないが、仕事や己のパンを失うと知れば同志への支持をとりやめる。結果として、各々が自らの利益にしたがって行動することで常に全般的利益を見失い、最後は個別利益も失ってしまう。もし人民を放っておけば、彼らは何も新しいものをつくることはできない。彼らはすでに慣れ親しんだ古い生活様式を拡張するだけである。人民は、指導者がいなければ、旧体制の瓦礫の上に新しい秩序を打ち建てたり。共産主義の理想を実現する方向に発展することはできない。(つづく)

焦点

維新政治ここが問題(上) 中山徹さん(奈良女子大教授) 唯一の経済政策がカジノ

格差社会と行政の公的責任、とくに大阪維新の

IRが経済政策?

政治のもとでの医療、福祉、教育などの現状を批判している、中山徹さん(奈良女子大教授)の話

維新がやっている経済政策とはどんなものか。維新が大府政、大阪市政を担って10年以

上。主要な経済指標をみると、ほぼ低下している。人口887万人から

881万人に減少、3大都市圏で大阪府だけが減

らしている。域内総生産は37兆円から40・2兆円

と若干増えたが、全国順位は2位から3位に

落ちた。IRというのは、すぐ大規模。カジノだけで

1人当たり県民所得は289万円から319万円、全国順位は9位から

12位に。失業率は6・9%から7・9%へ改善、順位は下から2番

目だったのが最下位に。例外的にはインバウンドの

外国人観光客。201万人から1152万人に

急増した。大半はアジアから。大阪が頑張った

というよりも、業の業績が悪化している。一方でオンラインな

どが普及、活用が広がった。オンライン型カジノ

も急成長している。ホテルに何日も宿泊させ、遊

ばせ続けようという巨大施設型は時代遅れになり

つつある。先行きはまったく不透明。もともと25

年に万博をやることになっていて。夢洲という

埋め立て地の一部を万博、他をカジノに。万博

が25年、カジノも25年までにオープンする計画

だった。それ自体の見通しが利かなくなった。

カジノにしがみつくと、予定地は、いまも埋め

立てている人工島であり交通の便もない。地下鉄

を延伸する予定だが、万博が終わればお客はカシ

ノに来る人だけ。延伸の費用、財源は、カジノに

投資する企業から当てにしていた。このままだ

らない、儲かるのは胴元だけ。地域で使われてい

たお金をカジノが吸い上げるなら、地域経済も衰

退する。しかもカジノは、ほとんどが海外資本。儲

けたお金は海外投資に回る。関西一円の地域経済

を衰退させることでカジノを成り立たせる。それが維新の「経済政策」だ。(つづく)

とかがコロナ禍になり状況が一変、既存のカジノ閉鎖やカジノ関連企業の業績が悪化している。一方でオンラインな

どが普及、活用が広がった。オンライン型カジノも急成長している。ホテルに何日も宿泊させ、遊ばせ続けようという巨大施設型は時代遅れになり

つつある。先行きはまったく不透明。もともと25年に万博をやることになっていて。夢洲という埋め立て地の一部を万博、他をカジノに。万博が25年、カジノも25年までにオープンする計画

だった。それ自体の見通しが利かなくなった。カジノにしがみつくと、予定地は、いまも埋め立てている人工島であり交通の便もない。地下鉄を延伸する予定だが、万博が終わればお客はカシノに来る人だけ。延伸の費用、財源は、カジノに

投資する企業から当てにしていた。このままだらない、儲かるのは胴元だけ。地域で使われていたお金をカジノが吸い上げるなら、地域経済も衰退する。しかもカジノは、ほとんどが海外資本。儲けたお金は海外投資に回る。関西一円の地域経済

を衰退させることでカジノを成り立たせる。それが維新の「経済政策」だ。(つづく)

を衰退させることでカジノを成り立たせる。それが維新の「経済政策」だ。(つづく)

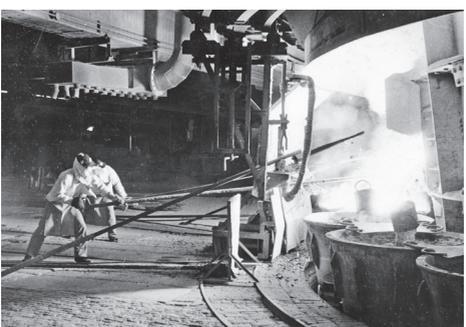
を衰退させることでカジノを成り立たせる。それが維新の「経済政策」だ。(つづく)



夢洲のカジノリゾートのパス図 (関西経済同友会作成)



「メチル水銀 中野五八 病名改正を 求める!! 水俣市民の会」



高熱電気炉でのカーバイドタッピング作業。アセトアルデヒドが生成される。熊本学園大水俣学術研究センター提供。

「牛馬のようにこき使え！」



水俣へ、4回目の旅④ こじまみちお
月7日から、チッソは水俣湾に無機水銀と有機水銀を流しはじめました。野口の労働者観は「牛馬のようにこきつかえ」であり、橋本が労働者を雇用する際に質問したの

この事件から60年以上が経ち、欧州の科学者の間ではメチル水銀中毒症の恐れしさは常識でした。1941年1月7日。湯の堂の中山邦彦(21)、47年12月29日。いずれも劇症型でした。公式確認日とされる1956年5月1日よりずっと前です。厚生省の思惑。窒素は戦前、肥料、爆薬、塩

ビのメーカーとして大きな位置を占めていました。朝鮮では、電気化学コンビナートを建設しました。戦後は日本の復興と高度経済成長を支える会社として存在したので

